１年　美術科　学習の指針（シラバス）

１．学習の目的（教科の目標）

・　表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を身につける。
・　感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばす。
・　自己表現や他人の表現の良さや思いを考え、自分らしさを発見できるようにする。

２．学習計画

学期	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
1学期	(1)　鉛筆で表現しよう (2)　文字のデザイン (3)　鑑賞	・被写体の詳細をよく観察して、描写する。 ・描写で影と光の明暗を身につけることができる。 ・明朝体・ゴシック体の違いがわかり、作品に活用することができる。 ・文字の持つ意味を考え、ものや形に置き換え、表現することができる。 ・色の性格や性質がわかり、ていねいに着色でき、気持ちを伝える発想ができる。 ・自他の作品の良いところを感じ取ることがわかる。
2学期	(4)　マグカップデザイン (5)　鑑賞	・限られた空間の中でデザインのテーマやコンセプトを明確にして、表現することができる。 ・デザインの配色やレイアウトなどの構想を練ることができる。 ・材料の特徴を理解して、作業をするとともに、計画的に制作することができる。 ・お互いの作品を鑑賞し、そこに込められた思いや良さを味わうことができる。
3学期	(6)　パッケージデザイン (7)　鑑賞	・パッケージのデザインのアイデアやコンセプトを明確にして、表現することができる。 ・材料の特徴を理解して作業をするとともに、計画的に制作することができる。 ・自他の作品の良いところを感じ取ることができる。

３．評　価

観　点	評　価　の　内　容	評　価　の　方　法
知識・技能	構想に基づいて自分の思い通りに丁寧に表現しようとしているかを評価します。	・制作途中のチェックで評価します。 ・完成作品のチェックで評価します。
思考・判断・表現	自分らしさを大切にしながら、より良い発想を生み出したり、構想を練ることができるかを評価します。	・資料収集の様子で評価します。 ・アイデアスケッチで評価します。 ・質問や発言で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	対象の良さや美しさに素直に感動できる心を持っているか、後片付け、道具類、備品を大切に扱う態度や、集中して授業に取り組む姿勢があるかを評価します。対象の良さや美しさ、作品に込められた思いなどを感じ取ろうとしているかを評価します。	・授業態度（姿勢）で評価します。 ・質問や発言で評価します。 ・意欲的な制作態度で評価します。 ・後片付け，掃除などの様子で評価します。 ・制作途中のチェックで評価します。 ・完成作品のチェックで評価します。 ・友達の作った作品への感想で評価します。 ・鑑賞プリントで評価します。

４．「確かな学力」のためのアドバイス

美術の授業は、芸術家を目指すわけではありません。美術の授業を通して、発想力や創造力を養うことは、将来、社会に出たときに必要になります。心の豊かさを身につけるために、全員が美術の授業に取り組むのです。

美術の授業では、発想するためのアイデアスケッチを何枚も描いて、試行錯誤することが大切です。また、日頃から様々なものに触れたり、美術館に足を運んだり、良い映画を観たりすることで感動し、美しいものを美しいと思う心を持つようにしてください。そして、ぜひ楽しく主体的に自己表現を楽しみ、生涯にわたって、美術を愛好することができるようになってほしいと思います。